特集

ごみ減量のために私たちが今できること

【問合わせ】クリーンセンター　☎23-3567

今回の特集は、広報担当者が実際にクリーンセンターを取材し、作成しました。その取材の中で最初に目にしたのは、右の写真の光景でした。次々と運び込まれてくるごみの量に圧倒されました。

半田市で発生するごみは、年間約3.7万トンで、処理するために年間約13億円の費用がかかっています。

県の調査によると、半田市の家庭系ごみ（家庭生活から生じた廃棄物）の排出量は県内54市町村のうち43番目とごみ量が多い状況です。また、半田市の収集ごみの中に混入している資源の量は、1年間で推計5,634トンもあり、この処理費は約2億円にもなります。

また、令和4年4月から稼働する新たなごみ処理施設「知多南部広域環境センター」の運営費用は、構成市町がごみ量に応じて負担することになっています。ごみの減量は、本市の負担金の削減にもつながります。

さらに、ごみを燃やしたときに発生する二酸化炭素は、地球温暖化の原因にもなっています。ごみの減量は、私たちの環境を守ることにもつながります。

ごみの減量には、市民のみなさん1人1人の協力が不可欠です。普段の生活の中で気軽に取り組むことができ、ごみ減量に効果的な方法である、生ごみの減量とごみの分別について一緒に考えていきましょう。

ごみ減量対策1　生ごみを減らす「3つのキリ」

家庭から出る生ごみは、燃やせるごみの約40%です。以下の3つのキリを実践しましょう。

❶水キリ：生ごみの80%は水分です。三角コーナーなどで水キリしてから捨てましょう。

❷食べキリ：料理は必要なだけ作り、残さず全部食べましょう。

❸使いキリ：食材を上手に使いキリましょう。

生ごみ処理機

生ごみを減量・堆肥化する機械です。取り出した生成物（堆肥）は、植木や草花の肥料として利用できます。

さらに、市では購入金額の3分の2を補助しています（上限あり）。詳しくは、市ホームページをご覧いただくか、クリーンセンターまでお問い合わせください。